

# 『対話する身体』 ～本人さんはどう思てはるんやろ～

## \*日時

9月28日(土) 12:00 ～ 17:15 (受付開始 11:30～)  
29日(日) 9:30 ～ 12:30 (受付開始 9:00～)

## \*場所

立命館大学 びわこ・くさつキャンパス フォレストハウス

(〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1)

場所詳細 : <https://maps.app.goo.gl/EAEBeC3TsNLnuPsr5>

アクセス : <https://www.ritsumeai.ac.jp/accessmap/bkc/>

JR 南草津駅よりバス 20分



左記すべて確認可能

## \*定員

200名(現地対面 100名、オンライン 100名)

※先着順(申込者多数の場合、会員優先となりますこと、予めご了承ください)

## \*参加費

現地対面 (両日参加) 会員:6,000円 非会員:8,000円

オンライン(28日のみ) 会員:3,000円 非会員:5,000円

## \*申込方法

下記URL、もしくは右のQRコードから参加申込をお願いします

<https://forms.gle/dxAotJFnt2wCmZmV7>

※申込後1週間経過しても事務局からの返信が無い場合

下記問い合わせ先にご連絡ください



## \*問い合わせ先

第12回 重症心身障害理学療法研究会 現地事務局 岡田雄一

Mail : [jushin.pt.12@gmail.com](mailto:jushin.pt.12@gmail.com)

## \*申し込み締切

7月19日(金)

## \*プログラム内容

### 1日目 (対面とオンラインのハイブリッド形式)

**12:10 ~ 15:30 講演**

**鯨岡 峻 先生**

(京都大学名誉教授)

**岸本 眞 氏**

(堺市立重症心身障害者(児)支援センター ベルデさかい、他 理学療法士)

**高塩 純一 氏**

(本研究会代表 びわこ学園医療福祉センター草津、他 理学療法士)

**15:50 ~ 17:00 鼎談**

**鯨岡 峻 先生**

**岸本 眞 氏**

**高塩 純一 氏**

### 懇親会(自由参加)

会場調整中 (南草津駅周辺で2時間程度・会費5,000円程度・定員60名)

\*\*\*\*\*

### 2日目 (対面のみ) アンケート結果に基づいた各論セミナー

**9:30 ~ 12:30 各論セミナー** ※昼食時間は含みません

#### ① 「障害の思い子どもたちへの関わり方の再考」ーセンスの伝え方、受け取り方を考えるー

日頃から障害の重い子どもたちにかかわるとき私たちはどのような心持で関わっているでしょうか。今回の鯨岡先生の話を受けて子ども達へのかかわり方を再考する機会になればと思います。このセミナーを通して日頃関わっているお子さんへの関わり方やスタッフの意識に変化を及ぼすことができればと考えております。

高塩 純一 (びわこ学園医療福祉センター草津)

上原 隆浩 (枚方総合発達医療センター)

## ② 重症心身障害理学療法の臨床意思決定ワークショップ

理学療法を実施した結果をより良いものにしたいですか？

臨床意思決定過程は、理学療法実践を導く理学療法士の思考、意思決定の過程です。本セミナーでは仮説指向型のフレームワークに基づいて、その概要や実践理論を紹介した後、事例検討としてワークシートを用いたグループワークを行います。

榎勢 道彦（四天王寺和らぎ苑）

黒川 洋明（島田療育センターはちおうじ）

## ③ 重症心身障害についての肺理学療法を再考する

重症心身障害児者についての『肺理学療法』とは？

そのルーツや臨床場面での聴診、呼吸介助、ポジショニングなどの技術を学びながら皆さんと考えていきたいと思えます。呼吸理学療法ではなく肺理学療法について『コンディショニング』、『呼吸ケア』をキーワードに、どの年代、環境にいても重症心身障害の方と向き合っていく中で重要な事を話していけるような場にしたいと思えます。

花井 丈夫（医療法人 拓 能見台こどもクリニック）

繁田 圭一（伊豆医療福祉センター）

## ④ 重症心身障害がある方々の変形(特に側彎)は何故起きるのか？その機序と対策を考える

理学療法(士)にできることを明確にするために、姿勢の分析手法について今一度学びを深めることで皆さまの日々の実践に活かせるよう、グループ討議と演習を行います。

辻 清張（こども発達支援センター のびろ）

岡田 雄一（四天王寺和らぎ苑）

## ⑤ 多職種に対する技術提供のためのスキル

本会のコンセンサスステイトメントの「家族や支援者への技術提供」にもあるように、理学療法には、様々な地域の拠点と協働することが求められています。多職種に対する技術提供は、本人さんたちが生活する環境へ働きかける有効な手段です。学校・保育園や放課後等デイサービス、生活介護施設や訪問看護ステーションなど多くの過ごし場や関係機関があります。様々な訪問支援を中心に、現状の課題の共有と課題解決のアイデアを考えていきます。

要 武志（株式会社リ・ハピネス すりーぴーす）

長谷川 大和（リハテラー横浜）